

【冬至】

冬至は、一年のうちで太陽が最も低い位置にあり、太陽の出ている時間(昼)が一番短くなる日です。そして、この次の日から少しずつ太陽の出ている時間が長くなるので、『一陽来復』(冬がおわり、春になること)と呼ばれているそうです。昔の人は太陽の力が弱くなると、人の運氣も弱くなると考えていました。そして、冬至の日になんきん(かぼちゃ)やあずきを食べて力をつけ、ゆず湯で身を清めて、幸運をよびこみ、無病息災(病気にかかることなく健康で過ごせること)を願うなどの風習が生まれました。

2学期最後の給食は、冬至にちなんだ「冬至揚げ」です。幸運をよびこむ食べ物を油で揚げて、ごまダレでからめています。縁起ものなので一口でもいただいて幸運を呼びこみましょう。

幸運を呼び込む冬至の食べ物



今年は12月22日です。

ん のつく食べ物を食べると、幸運になるという言い伝えもあります。

かぼちゃ (なんきん) れんこん ぎんなん きんかん うどん

にんじん かんてん